

市長より議員報酬削減提案は

できないか

津山誠心会議・改革クラブ 山田 誠



質問↓財政逼迫の折、行財政改革

に取り組みため、市長より議員報酬削減の提案はできないか。また、特別職報酬等審議会を開催

を考へては。

答弁↓議員報酬削減は、全国的に見直し論議がされており、議会で論議されるのでその動向を見守りたい。したがって、特別職報酬等審議会の開催は当面考へていない。

質問↓新クリーンセンター建設が予定より遅れている。地元では本当にやる気があるのかとの声も聞かれる。市長自らが先頭に立ち、問題点の解決に当たるべき。

答弁↓領家との覚書等検討課題は数点あるが、これまで以上に地元の皆さんと認識の共有化を図り、取り組んでいく。

質問↓震災経歴の少ない利点を活かしてリスク分散の観点から、企業誘致の取り組み状況は。

答弁↓市では拡充した優遇制度を周知し、トップセールスも活用した企業誘致に積極的に取り組んでいる。

市長のサーバント

リーダーシップアップ

津山新星会議 近藤吉一郎



質問↓庁舎のよりわかりやすい窓口の配置など物理的な見直し等を行うべきでは。

答弁↓窓口カウンターや駐車場の改善など利便性の向上に努めている。また、本庁舎北側正面玄関の改善を検討中である。

質問↓管理職の接遇研修を提案する。

答弁↓管理職研修のテーマの一つとして接遇研修を実施し市民の方に一層親しまれる市役所になるよう取り組む。

質問↓市長のサーバント・リーダーシップについての考へは。

答弁↓職員の持つ知識などを引き出し、まちづくりビジョンや目標について組織全体で共有化し達成に向けて取り組む。

質問↓学校耐震化工事では授業等に支障が生じるが対応は。またトイレ改修の計画は。

答弁↓授業の課程を工夫し対応する。部活動は近隣の小中学校の施設で対応する。トイレは耐震化工事の時に改良を行う。

質問↓小学校図書の実と司書配置は。

答弁↓昨今の事情の中で正規職員の配置というわけにはいかないが、司書教諭と学校司書が連携して図書の充実に努めていく。

原発事故、現地対策本部が

使えない

新政クラブ 秋久憲司



質問↓福島原発事故では現地対策本部となる施設が原発から五キロの地点にあり、職員が全員避難したため使用不可能となった。原発など臨界事故を起こす危険性のある全国二十二箇所の施設の近くに設置されている。中国地方では、島根原発のある松江市と人形峠に二箇所あるがどちらも近いために福島と同様、万が一の事故時には使えない。災害時でも機能するようこの施設の移転など原子力災害への防災対策の見直しを国などに求めるべき。

答弁↓原子力災害時の現地対策拠点施設はこれまで津山市と直接関係がないので特に認識を持たずにきたが、指摘のとおり事故の発生を現実的なものとして県の防災計画の中で見直しが必要と思う。また国にも責任を持つよう要請している。

質問↓災害時に民間・自治体間の相互協力が必要で協力しあう自治体を増やすべき。

答弁↓広域自治体間の応援体制は重要で作っていく。長崎県諫早市・島根県出雲市と「災害時における相互応援協定」を結ぶよう準備している。